

平成23年度第6回倫理委員会の概要

I 開催日時：平成24年3月27日（火）16：30～17：20

場 所：第一会議室

出席者：委員長 副院長（水津博）
副委員長 統括診療部長（加藤達雄）
内部委員 臨床研究部長（金子英雄）
成育診療部長（内田靖）
療育診療部長（渡邊宏雄）
薬剤科長（三島信行）
看護部長（齊藤伊都子）
事務部長（佐々木且法）
外部委員 岐阜大学教育学部教授（池谷尚剛）
岐阜県立長良特別支援学校長（若園仁）

倫理委員会細則第8条第2項（2／3以上の出席）に基づき、委員11名中10名の出席により委員会開催が成立した。

II 委員会の概要

- 1 ○研究課題名： 遺伝子修復異常症（Bloom 症候群、Rothmund - Thomson 症候群、RAPADILINO 症候群、Baller-Gerold 症候群）の実態調査、早期診断法の確立に関する研究
○研究出題者： 臨床研究部長 金子 英雄
○研究の概要： 厚生労働省難治性疾患克服事業として23年度からスタートしているものである。RAPADILINO 症候群、Baller-Gerold 症候群という非常に希な疾患であるが、全国の小児科、皮膚科、がんの拠点病院にアンケートを送り、それを回収たうえで二次調査票を送る。二次調査票の回答に基づき RAPADILINO 症候群、Baller-Gerold 症候群の実態を明らかにしていこうというものである。
○委員会の概要： 申請書に基づき研究実施の適否を審査した。
○判定結果： 承認
- 2 ○研究課題名： ヒト血清を用いた筋ジストロフィーの新たな診断薬の開発に関する研究
○研究出題者： 臨床研究部長 金子 英雄
○研究の概要： 筋ジストロフィー患者血清中における I T I H 4、G P X 3

などの病態と関連すると考えられる各種タンパク質の発現量を比較検討するということである。対象は筋ジストロフィー症状を有する患者を対象とし、通常の血液採血後血清を分離する。その後各種タンパク質の血清中含有量を免疫ブロット法にて評価する。

○委員会の概要：申請書に基づき研究実施の適否を審査した。

○判定結果：承認

3 ○研究課題名：炭水化物含有飲料を用いた術前経口補水による患者満足度の改善及び術後ストレスの検討

○研究出題者：看護師 井上 真里

○研究の概要：炭水化物含有飲料を用いた術前経口補水による患者満足度の改善及び術後ストレスをアンケートにより調査併せて麻酔導入時のバイタルサインの変化、できれば術後の合併症も検討していく。

○委員会の概要：申請書に基づき研究実施の適否を審査した。

○判定結果：承認